

令和 7 年度 地域連携推進会議		社会福祉法人 函館緑風会 希望ヶ丘学園		
会議録		開催場所	希望ヶ丘学園 食堂 希望ヶ丘学園本館・女子棟(見学)	
令和 8 年 1 月 19 日		13時00分	～	14時00分
議 題				
1 施設長より挨拶				
2 地域連携推進委員及び参加者の紹介				
3 希望ヶ丘学園の事業内容と現状報告について				
4 施設見学				
5 質疑応答				
6				
7				
8				
9				
10 その他（連絡・報告事項）				
出席者	施設長(管理者)	佐藤孝之	利用者代表(委員)	木村 房子
	支援部長(サービス管理責任者)	長澤 隆	利用者代表(委員)	秋田 優介
	支援課長	阿部 広樹	保護者代表(委員)	田崎 竹嗣
			地域住民代表(委員)	川島 博
<p>1.施設長より挨拶</p> <p>障害者支援施設や共同生活援助(グループホーム)などの福祉サービス事業所が、地域の関係者と連携しながら事業運営の透明性やサービスの質を高めることを目的とした会議となります。</p> <p>主な目的は4つが柱となっています。</p> <p>①利用者との関係づくり      利用者が地域の一員として安心して暮らせるよう、顔の見える関係を築く。</p> <p>②地域住民への理解促進      施設や利用者の生活を地域に知ってもらい、相互理解を深める。</p> <p>③サービスの透明性・質の確保      外部の目を入れることで、事業所の運営や支援の質を向上させる。</p> <p>④利用者の権利擁護      利用者の声がサービスに反映されているかを確認し意思決定支援などを含めて権利を</p> <p>疑問に思うことやお聞きになりたいことなどがあれば遠慮なくご質問ください。</p> <p>2.地域連携推進委員及び参加者の紹介</p> <p>○木村 房子(希望ヶ丘学園利用者代表) ○秋田 優介(グループホームふるーる利用者代表)</p> <p>○田崎 竹嗣(保護者代表) ○川島 博(地域代表)</p> <p>○佐藤 孝之(希望ヶ丘学園管理者) ○長澤 隆(支援部長・サービス管理責任者) ○阿部 広樹(支援課長)</p> <p>3.希望ヶ丘学園の事業内容と現状の報告について・・別紙参照</p> <p>(1)事業所の紹介 組織図      別紙にて報告</p> <p>(2)事業所の利用状況及び職員配置状況(令和7年4月1日現在)</p> <p>○利用定員及び現員    ・生活介護60名(現員57名)    ・施設入所支援40名(現員37名)    ・短期入所4名</p> <p>○職員構成(配置基準 1.5 : 1 )</p> <p>・施設長 ・事務長 ・支援部長(サービス管理責任者) ・支援課長3名(男子・女子・地域)</p> <p>・支援員33名(フルタイム20名 パートタイム13名)・看護師2名 ・栄養士 ・事務員3名</p>				

(3)防災関係

○BCP策定について 策定済み

・(R6. 11 訓練 実施)

○訓練等について

・(R6. 6 R6. 8 R6. 10 避難誘導訓練・消火訓練実施)

(4)感染症等の状況と予防対策

○新型コロナウイルスの流行以降、予防対策を徹底しておりますが、令和6年9月にインフルエンザA型の集団感染がありました。手洗いの徹底。マスクの着用。初期発生後の感染拡大防止(隔離、ゾーニング等)を行い早期の終息に向けて努めた。

(5)権利擁護について(虐待・事故報告等)

○令和6年度 事故報告件数 11件

・転倒による打撲 5件

・転倒による裂傷 2件

・転倒による骨折 2件

・突き飛ばし 破壊行為 2件

利用者の方の一部高齢化と重度化が一定数増えてきていることから、転倒のリスクなどは年々増加し、見守りや付き添い支援など増加傾向にある。

○虐待防止委員会は毎年2回委員会を開催

○虐待防止研修の実施(グループホームふるーとと合同で実施)

・令和7年1月 外部講師「障がい者虐待と権利侵害」について

○虐待防止セルフチェックの活用(集計後、全体に周知しています)

(6)実施行事、ボランティア等実施状況 別紙にて報告

(7)職員研修実施状況 別紙にて報告

4.整備事業

○女子棟外壁修繕工事

○本館・女子棟他のエアコン設置工事

○女子棟出入口風除屋根設置

○館内のWi-Fi環境整備

5.施設見学

○希望ヶ丘学園本館 ○女子棟

6.意見

○防災については、12月には大地震もあったことから、いつ何が起こるのか読めない状況に対するリスクがある。

そのリスクに対し備えていることについて改めてその重要性を話されていた。

○昨年12月の地震時の被害状況と津波注意報の対応状況について

・幸いにも利用者職員共に怪我などは無かった。ライフラインも被害がなく通常通りの生活が継続出来た。

○避難場所についてはどうなっているのか？

・希望ヶ丘学園は函館市の緊急避難場所に指定されている。災害が発生した場合に避難場所として開設しているがこれまでに避難してきた人はおりませんが、電話などでは照会されるケースは数件あった。

古川町の方は、古川町会館が開設されるとそちらに避難されるケースが多い状況にある。